

まゆだま 通信

群馬大学ダイバーシティ推進センター

News Letter

■発行

国立大学法人群馬大学
ダイバーシティ推進センター

〒371-8510
群馬県前橋市荒牧町4-2
TEL: 027-220-7146
FAX: 027-220-7143
mail:kyodo-sankaku@jimu.gunma-u.ac.jp
HP:http://kyodo-sankaku.gunma-u.ac.jp/



2023.7

vol.32



令和4年度研究力アップ講座 開催

本年度の研究力アップ講座は、2月14日（第12回）と3月27日（第13回）の2回に渡ってオンラインで開催しました。

第12回は「査読について考えよう」というタイトルで東京大学大学院医学系研究科の水島昇先生に、査読に対する心得やeLife誌を例に最新の査読システムについてお話いただきました。年間50本もの論文の査読を行われている先生ですが、投稿論文数に対する査読者数を考えると決して多い数字ではなく、研究者は積極的に査読を引き受ける義務があるというお言葉が大変印象的でした。（参加者82名）

第13回は「脱自己流!! デザインの基本ルール」というタイトルで千葉大学大学院理学研究院、日本学術振興会特別研究員の片山なつ先生に資料作成におけるデザインの手法についてお話いただきました。多様性に配慮し、視覚バリアフリーを目指すにという視点に基づき、具体的なフォントの選択等の実践的な手法をご講義いただいたうえ、会場からも多数の質問がなされ、全てについて詳細なご回答をいただきました。（参加者127名）



大学幹部向けFDセミナー 開催

令和5年5月18日、荒牧キャンパスにおいて大学幹部FDを開催しました。講師には広島大学特命教授 相田美砂子氏をお招きし、「女性教員の割合増加に関する諸問題について - 先進的な広島大学の事例に学ぶ -」をテーマにお話いただきました。相田先生は、理論化学分野でのコンピューターシミュレーションがご専門ですが、平成19年より男女共同参画・女性研究者支援、平成21年より若手研究人材の育成のリーダーとして切れ目なく携われ、平成28年より大学改革担当理事・副学長として活躍されました。

大学のシステム改革にとって、研究人材として女性の存在が当然重要であり、着実に割合を増やしていくことは改革に必須であると語られました。中でも徹底した大学のモニタリングをIR: Institutional Research として推し進め、女性に係る割合をはじめ、目標達成の度合いを数値化する業績評価指標(教員の教育研究業績等)を自動化、ルーチン化し、広島大学独自の指標を大学間連携においても広げて共有している事例をご紹介くださいました。ハイブリット開催であったため、教職員にもセミナーを公開し、88名の参加がありました。





新センター長 ご挨拶

ダイバーシティ推進センター
センター長

小和瀬 桂子 (医学系研究科 教授)



この4月より、嶋田淳子・前センター長からバトンを受け、ダイバーシティ推進センター長を拝命いたしました。群馬大学においては、2013年にセンターの前身である男女共同参画推進室が設置され、同年から文部科学省の補助金を受けて、「まゆだまプラン」、そして「まゆだまプラン・アドバンスト」を継続的に展開しております。これは、女性研究者の増加というばかりでなく、その能力を十分に発揮し、リーダーとして大学全体で育成していく環境を目指すことを目標としております。

この「まゆだまプラン」が開始された頃、私自身も多大なるご支援をいただきました。特に、研究活動支援で、研究支援者を雇用することができ、研究継続が可能となりました。さらに、子育てや仕事の両立の解決に向けて、両立支援アドバイザーやコーディネーターの方より有意義なアドバイスを頂戴いたしました。このように、「ここに来れば、相談に乗っていただける、応援していただける」という場があるということが大変重要と考えています。

2020年度には、「ダイバーシティ推進センター」と改組されました。今後、大学の使命として様々な背景を持つ多様な人々がその能力を十分に発揮できるよう、ダイバーシティを推進していくことが大切です。引き続き皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



新副センター長 ご挨拶

ダイバーシティ推進センター
副センター長

村岡 貴子 (理工学府 教授)



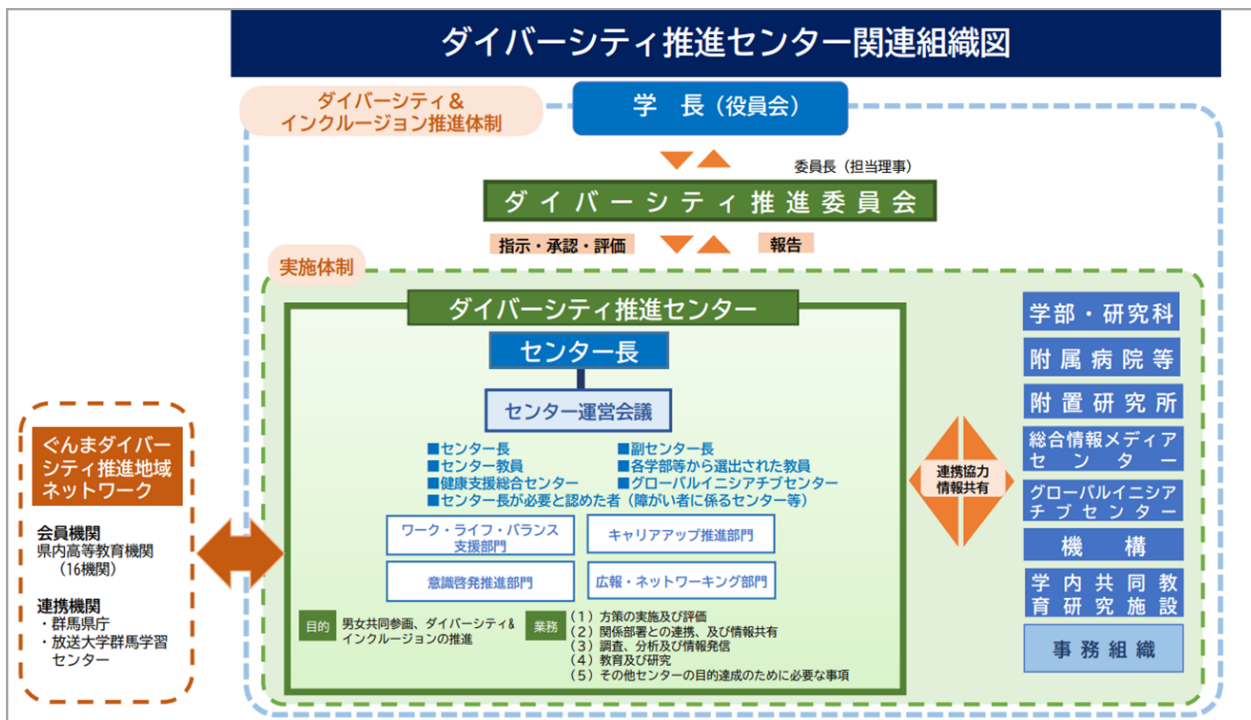
2023年4月よりダイバーシティ推進センターの副センター長を拝命いたしました。以前、ダイバーシティ推進センターの前身の男女共同参画推進室で意識啓発に関する業務に携わっておりました。当時はおられなかったセンター専任教員が配置され、またセンター構成員が増員されるなど、大学が組織的にダイバーシティをさらに推進する基盤が醸成された印象を受けました。

ダイバーシティは、多様な属性、個人の価値観・発想を柔軟に取り入れ、困難を乗り越える強い組織づくりを推進した結果、生産性の向上、組織の成長、すべての構成員の幸せが達成される、構成員にとって「win」の戦略だと考えています。また、構成員の一人として、「権利の主張」と「行動への責任」は常に隣り合わせにあることを肝に銘じながら、自分らしく研究・教育に邁進できればと思います。意識醸成、制度整備などを通じて、構成員の多様な属性、働き方（究極には生き方）を互いに尊重する組織づくりに尽力する所存です。「群馬大学で働きたい」「働いてよかった」を達成・継続できるよう、今後とも構成員皆様のご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



令和5年度ダイバーシティ推進センター体制

センター長	小和瀬 桂子 (医学系研究科 教授)	意識啓発推進	◎ 羽鳥 麗子 (地域医療研究・教育センター 講師) 座間 淑夫 (理工学府 准教授) 山崎 法子 (共同教育学部 准教授) 高井 ゆと里 (情報学部 准教授) 山本 真祐子 (情報学部 講師)
副センター長	村岡 貴子 (理工学府 教授) 林 はるみ (ダイバーシティ推進センター 教授) 長安 めぐみ (ダイバーシティ推進センター 講師) 奈雲 太郎 (総務部総務課長)		
ワーク・ライフ・バランス支援	◎ 浅野 素子 (理工学府 教授) 新井 陽子 (保健学研究科 教授) 新藤 慶 (共同教育学部 准教授) 菅生 千穂 (共同教育学部 准教授) 吉田 由香里 (重粒子線医学推進機構 助教)	キャリアアップ推進	◎ 村岡 貴子 (理工学府 教授) 尹 友 (理工学府 教授) 向後 寛 (医学系研究科 講師) 土岐 明子 (保健学研究科 助教) 福中 彩子 (生体調節研究所 助教)
広報・ネットワーク	◎ 恩幣 宏美 (保健学研究科 准教授) 黒沢 綾 (理工学府 助教)	渡邊 知積 (大学教育・学生支援機構 講師) 宮崎 博子 (健康支援総合センター講師) 中野 聡子 (共同教育学部 准教授)	
事務	鈴木 伸一(総務部人事労務課長) 大萱 千草(研究推進部人事研究推進課長) 加藤 幸生(理工学部事務長)	姉崎 英広(学務部教務課長) 茂木 克之(昭和地区事務部総務課長) 石間 美子(総務部総務課係長)	



託児等費用補助

今年度も申請がスタートしました

今年度も「群馬大学入試業務と育児の両立に関する託児等費用補助」の申請を開始しました。入試業務や学会出張の際に託児サービスを利用した場合に、その費用の一部を補助します。申請には諸条件がありますので、詳しくはホームページをご確認ください。



令和5年度(R5.6.1~R6.2.29)

入試業務・学会出張における託児費用の補助を行います

ダイバーシティ推進センター

群馬大学に勤務する教職員が、令和5年度(R5.6.1~R6.2.29)に入試業務や学会出張などを行う際、託児サービスを利用した場合に、その費用の一部を補助します。

対象者：本学に勤務する教職員で、①②のいずれかに該当し、中学校就学前の子の保育に託児等を利用する者。

① 選休日・休日にかかる入試業務(大学入学共通テスト、大学及び大学院入試、編入試験等)に従事するため

② 他部が必要なお出張を伴う学術討議等の学会に参加するため(平日も可)

補助金額：1日分の申請につき1万円を上限とし、年度内に合計5万円を上限とします。支払いは3月以降に行います。

*申請多数の場合はダイバーシティ推進センターの予算内で配分します。

対象の範囲：保育所の託児施設、ファミリーサポートセンター及びベビーシッター。ただし、家族や近親者が行うベビーシッターは対象外(ファミリーサポートセンター等の会員である近親者は除く)とします。なお経費の支出に伴い、必ず領収書の提出をお願いします。ただし、下記の項目は補助対象になりませんのでご注意ください。

(1) 託児会社等への入会費及び年会費

(2) 利用の取り消しに伴う費用

(3) 通常の月額料金に含まれている費用(対象となる曜日に定期的に預けている場合)

申請方法：申請書(様式第1号)に、預け先の託児等費用が明らかになるパンフレット等を添え、書照、ダイバーシティ推進センター(庶務)に申請してください。学会等に参加の場合は、発表の有無についても明記してください。

結果につきましては、審査の後、申請者へ通知します。

申請の締切：各入試・各学会予定日の15日前までです。

手続き：補助が決定した際は、託児等の利用後速やかに、領収書等支払額が明らかになるものを添付のうえ、報告書及び請求書(様式第2号)、出張簿の写し(必要に応じて選休日・休日の振替簿の写し(入試)、旅行命令簿の写し(出張))を書照、ダイバーシティ推進センター(庶務)に提出してください。

報告書・請求書の最終締切：令和6年3月5日(木)

※ご不明な点は下記までご連絡ください。

ダイバーシティ推進センター 庶務キャンパス3号館1階 103

連絡先：中島(内線7143)

kyodo-sankaku@jmu.gunma-u.ac.jp

https://kyodo-sankaku.gunma-u.ac.jp/



プロジェクトリーダー促進助成【A型】

大田 ゆかり(食健康科学教育研究センター 講師)

土岐 明子(保健学研究科 助教)

研究会企画・提案助成【B型】

石井 希実(理工学府 助教)

岩本 伸司(理工学府 准教授)

川崎 愛理(理工学府 助教)

小金澤 紀子(医学系研究科薬理学 助教)

福中 彩子(生体調節研究所 助教)

令和5年度 共同研究促進事業 採択者決定



ダイバーシティ推進センター

令和5年度

年間スケジュール

7~9月 オープンキャンパス参加

9月 全学ランチミーティング開催

10月 令和6年度研究活動支援事業募集開始

11月以降開催(予定)

シンポジウム

性の多様性講座

研究力アップ講座



※現時点の予定となりますので変更や中止の場合もございます。予めご了承ください。